

令和3年度 中間 学校評価書

校訓・教育目標

明朗 剛健 立志

ふるさとに根ざし 明るく たくましく生きる生徒の育成

経営の重点事項

①学びと授業づくりへの挑戦 ②集団づくりへの挑戦 ③ふるさと活動づくりへの挑戦

具現化のための3プロジェクト

【学びプロジェクト】

テーマ：ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける

- ① 「比内中授業の当たり前」の共通実践
 - ▶生徒・教師共に授業の凡事徹底 ▶みらとびツアーの実施による指導技術の向上
 - ▶授業プランシートの活用によるPDCA
- ② 学びを実感させる授業の構想と展開
 - ▶教科観を大切にした授業構想とその展開 ▶学びを確かなものにするまとめの仕方
 - ▶次への意欲につなげる振り返りの工夫
- ③ 積極的に学び合う場の設定
 - ▶みらとびタイムの再構築と共通実践 ▶学びを深めるための必然的な学び合い

【心と体プロジェクト】

テーマ：ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる

- ① 支え合う人間関係づくりと所属感を高める学年・学級づくり
 - ▶学級会活動の活性化と短学活の工夫 ▶道徳教育の充実による規範意識の向上
 - ▶自治的な学年集会の工夫と充実
- ② いじめ・不登校の予防・根絶と三機能を生かした生徒指導の展開
 - ▶「心」プロジェクト、SCの活用・連携
- ③ 家庭連携によるライフスタイルの改善
 - ▶メディアコントロールへの取組 ▶体力と健康の保持増進（健康課題等の解決）

【生き方プロジェクト】

テーマ：ふるさとに生き、自らを変えていく力を付ける

- ① 自己有用感を味わい、一人一人の共感的協働力を高める特別活動の企画・推進
 - ▶運動会、比中祭、合唱祭等の学校行事の工夫・充実
 - ▶縦割り活動を生かした教育活動の創造
- ② ふるさとキャリア教育と地域貢献につながる体験活動の充実
 - ▶比内のものや人との関わりを生かした「ふるさと活動」の充実
 - ▶郷土愛と地域に貢献できる力の醸成
- ③ 主体的実践力を高める生徒会活動の充実
 - ▶内なる力を外に発信できる生徒会活動の企画・実践

ア
生徒
の
状況

学校関係者評価区分の 自己評価Aと 自己評価Bの 評価基準	きわめて良好	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好	4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好	3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分	2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する	1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学びプロジェクト

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける	中間	やや不十分	おおむね良好	望ましい学習規律の習慣化、協働的な学級づくりや先生と生徒の良好な関係づくりに力を入れてほしい。生徒の成長を認める言葉かけを大切にしたい。ほめることで子どもたちを伸ばしてほしい。
	年度			
自己評価学校の概要改善と策	【中間（→年度末）】 ・教師の授業の構築等の取組は生徒のアンケート結果から、意識して取り組まれている。しかし、教師側の実際の手応えとしては、生徒の実態に合った取組ができなかった思いが強い。後期は、開始時間の徹底や学習規律面の生徒への意識改革を図り、学習習慣が定着する基礎をつくっていききたい。			
	【年度末（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(1) 意欲的な学習への取組（学びに向かう力のために）	①基本的な学習習慣の定着	◇授業の凡事徹底（比内中スタンダード、比内中授業の当たり前）	2	
	②学んだことを定着させるための取組	◇学びを確かにするまとめ、次の意欲につながる振り返り		
	③積極的に学び合う場の活用	◇「みらとびタイム」の再構築と共通実践、必然的な学び合い		
	④家庭学習の時間確保と質的向上	◇効率的な学習の指導、学びのサイクルづくり（朝ドリル、授業、家庭学習）		
(2) 学力の定着・向上	⑤全国学力、県学習状況調査の結果を踏まえた対策	◇授業改善、回復指導、補充問題の活用	2	
	⑥単元テスト、定期テスト等の結果を踏まえた授業改善	◇分かる、できる、楽しい授業づくり（教科の基本）		

(1) 意欲的な学習への取組					
①基本的な学習習慣の定着					
[生徒1]					
%	そう思う	だいたい	あまり	まったく	
中間	71.1	28.3	0.6	0	
年度末					
[教師1]					
人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	5	5	8	46%
年度末					

②学んだことを定着させるための取組

[生徒2]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	41.1	54.4	3.9	0.6
年度末				

[保護者1]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	18.5	46.4	25.2	9.9
年度末				

③積極的に学びに向かう場の活用

[生徒3]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.6	50.3	20.9	2.3
年度末				

④家庭学習の時間確保と質的向上

[生徒4]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	48.9	36.7	11.7	2.8
年度末				

[保護者2]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	27.2	49.7	17.9	5.3
年度末				

(2) 学力の定着・向上

⑤NRT、全国学テ、県学習状況調査の改善

[生徒5]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	20.7	44.1	29.6	5.6
年度末				

[保護者3]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	15.2	41.1	37.7	6.0
年度末				

[教師2]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	6	7	0	49%
年度末					



2年A組の個別授業



グループの話し合いによる課題解決

[教師3]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	5	8	0	48%
年度末					



全国学力・学習状況調査(3年生)



第1回定期テスト(2年生)

[教師4]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	5	7	0	47%
年度末					

Ⅱ 心と体プロジェクト

生徒の状況		自己評価 A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる	中間	おおむね良好	おおむね良好	S Cの活用も含め、今後も居場所づくりの充実を継続してほしい。また、外部機関との連携で学校復帰できることを期待したい。子どもの声を生かしたルール作りを今後も続けてほしい。
	年度			
自己評価 学校の概要 改善と策	【中間（→年度末）】 ・ 道徳科の授業を基盤としながら、学校生活全般を通して自己の生き方を考えさせたり道徳性を養わせたりしていきたい。 ・ 校内のS Cや通級指導教室、また、外部の関係機関と連携し、不登校、不登校傾向の生徒の対応をしている。継続し、不登校生徒の登校意欲を高める手立てを考えていきたい。			
	【年度末（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価 B	
			中間	年度
(3) 居心地のよい学校生活	⑦所属感を高める学級づくり	◇短学活の充実、高め合う話し合い活動 S G Eの活用	3	
	⑧学級の一員として自覚と責任の育成	◇係活動、学級活動の充実、一人一役		
(4) 優しさとした心の育成	⑨道徳教育の充実	◇道徳科の授業実践の積み重ね ◇心を大切にしたいあいさつ、掃除などの活動の充実	3	
(5) 健全で共感的な心の育成	⑩いじめ・不登校や問題行動の未然防止、根絶	◇心プロジェクトの推進（情報共有）	3	
	⑪共感的な教育相談活動の実施	◇生徒理解、定期教育相談、三者面談、S Cの活用等		
(6) 体力と健康の保持増進	⑫家庭連携によるライフスタイルの改善	◇メディアコントロールへの取組、学校保健委員会の実施	3	
	⑬継続的な体力づくりの実践	◇体力に応じた指導、健全な部活動指導		

(3) 居心地のよい学校生活 ⑦所属感を高める学級づくり					[教師 5]					
[生徒 6]										
%	そう思う	だいたい	あまり	まったく	人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	53.3	36.7	7.8	2.2	中間	0	10	3	0	59%
年度末					年度末					
[保護者 4]										
%	そう思う	だいたい	あまり	まったく						
中間	27.8	60.3	10.6	1.3						
年度末										

(4) 優しさと強さをもった心の育成

⑨ 道徳教育の充実（心の成長）

[生徒 7]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	63.3	32.8	3.3	0.6
年度末				

[保護者 5]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	27.2	64.9	7.3	0.7
年度末				

(5) 健全で共感的な心の育成

⑩ いじめ・不登校等や問題行動の未然防止、根絶

[教師 7]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	11	2	0	62%
年度末					

⑪ 共感的な教育相談活動の実施

[生徒 9]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	53.3	38.9	5.6	2.2
年度末				

(6) 体力と健康の保持増進

⑫ 家庭連携によるライフスタイルの改善

[生徒 10]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	41.1	35.6	18.3	5.0
年度末				

[保護者 6]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	13.2	41.7	36.4	8.6
年度末				

⑬ 継続的な体力づくりの実践

[生徒 11]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	67.0	22.9	8.4	1.7
年度末				

[教師 6]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	9	4	0	56%
年度末					

⑨ 道徳教育の充実（心を込めたあいさつ、掃除）

[生徒 8]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	58.3	33.9	7.8	0
年度末				



互いのよさを認め合う学級活動



1学期の学級を振り返るグループ活動

[教師 8]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	6	6	0	54%
年度末					

[教師 9]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	10	2	0	64%
年度末					

Ⅲ 生き方プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとに生き、自らを変えていく力を付ける	中間	おおむね良好	おおむね良好	体験活動を通して、働くことの大切さ、社会性など、大人との関わりから多くのことを学んでほしい。異学年の生徒に対する感謝の言葉がよかった。自己有用感を高める工夫を継続してほしい。
	年度			
自己評価 学校の概要 改善と策	【中間（→年度末）】 ・校外学習（農業体験・職場体験）、高校説明会及び体験入学を予定通り実施することができた。 ・元気に、明るい表情であいさつする生徒が増えてきている。生徒発信であいさつを強調できるよう、生徒会活動を生かしていきたい。			
	【年度末（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(7) 社会に通用する生活習慣の形成	⑭明るく元気なあいさつ、言葉遣い	◇あいさつ運動の実施、言語環境の整備	3	
	⑮規律ある落ち着いた生活の確立	◇生徒との日常的な触れ合いとその場指導の継続		
(8) 集団生活の向上（自主自律）	⑯共感的協働力を高める特別活動の充実	◇学年集会、全校集会、学校行事の企画・工夫	3	
	⑰生徒会・委員会活動の活性化	◇主体的な実践力（計画と運営）を高める活動内容の工夫		
(9) 自己の生き方の探求	⑲望ましい勤労観・職業観の育成	◇進路学習や職業人による講座の実施・充実	3	
	⑲人間関係形成、自己理解、自己管理能力の育成	◇進路計画の実践、進路指導（職業適性）		
(10) 郷土愛と地域貢献する力の醸成	⑳主体的・創造的に生き抜く力の育成	◇地域貢献につながる体験活動の充実	3	
	㉑ふるさとのよさの発見、愛着心の育成	◇比内夢づくりPの充実、ふるさと活動の精選・充実		

(7) 社会に通用する生活習慣の形成

⑭明るく元気なあいさつ、言葉遣い

[生徒 1 2]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	65.6	27.8	5.6	1.1
年度末				

[保護者 7]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	15.9	70.9	12.6	0.7
年度末				

⑮規律ある落ち着いた生活の確立

[生徒 1 3]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	52.2	41.1	6.1	0.6
年度末				

[保護者 8]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	17.2	60.9	17.2	4.6
年度末				

(8) 集団生活の向上 (自主自律)

⑯共感的協働力を高める特別活動の充実

[生徒 1 4]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	44.1	43.6	11.2	1.1
年度末				

[保護者 9]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	15.2	60.9	22.5	1.3
年度末				

⑰生徒会・委員会活動の活性化

[生徒 1 5]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	53.6	39.1	7.3	0
年度末				

[教師 1 0]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	8	5	0	54%
年度末					



生徒会による朝のあいさつ運動

[教師 1 1]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	5	8	0	46%
年度末					



学校生活のきまりについて考える全校の話合い

[教師 1 2]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	11	1	0	67%
年度末					



比内中祭に向けた頑張ろう集会

[教師 1 3]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	11	2	0	62%
年度末					

(9) 自己の生き方の探求

⑱望ましい勤労観・職業観の育成

[生徒 16]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	59.8	34.6	5.6	0
年度末				

[教師 14]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	10	3	0	59%
年度末					

⑲人間関係形成、自己理解、自己管理能力の育成

[生徒 17]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	55.9	34.6	8.9	0.6
年度末				

[教師 15]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	0	7	6	0	51%
年度末					

[保護者 10]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.5	57.6	13.9	0
年度末				



1年生ふるさとお仕事博覧会

(10) 郷土愛と地域貢献する力の醸成

⑳主体的・創造的に生き抜く力の育成

[生徒 18]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	37.4	44.1	13.4	5.0
年度末				

[教師 16]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	10	2	0	64%
年度末					

[保護者 12]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	29.1	58.3	12.6	0
年度末				



2年生職場体験学習

㉑ふるさとのよさの発見、愛着心の育成

[生徒 19]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	64.6	29.2	3.9	2.2
年度末				

[保護者 11]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	29.1	58.3	12.6	0
年度末				

[教師 17]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	10	2	0	64%
年度末					

イ 学校運営の状況

学校関係者評価区分の自己評価Aと評価Bの自己評価基準	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 学校運営 学校管理

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
<p>学校運営に対して主体的に参画し、組織的に取り組んでいる。 危機管理も含めて校内外ともに安全・安心に教育活動を展開できる環境を整備する。</p>	中間	おおむね良好	おおむね良好	<p>事故防止の取組として、事故の原因を分析するなど、未然防止に生かしてほしい。PTAと協力しての安全な環境づくりがすばらしい。高い危機管理意識を評価したい。</p>
	年度			
自己評価学校の概要改善と策	<p>【中間（→年度末）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各指導部長が新しいメンバーになったが、教務主任を中心に効果的な教育課程編成が行われている。職員一人一人が、学校運営に参画しているという意識をさらに高めていきたい。 自転車運転技術の未熟さや判断力の弱さによる事故・ケガが数件あった。徐々に交通ルールやマナー遵守の意識が高まっている。定期的な安全点検等を行っているが、校舎の老朽化による施設の不具合が多い。暗い場所の街灯設置、クマ対策等、安全・安心な環境づくりを継続していきたい。 			
	<p>【年度末（→次年度）】</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(11) 学校運営への主体的参画	⑳学校の教育目標、目指す生徒の実現	◇経営方針・重点の明示と共通理解、相違ある教育課程編成	3	
	㉑共通実践事項の共通理解と実践	◇主体的な参画による課題解決、チーム力の向上		
(12) 学力向上等への組織的研修	㉒学びを実感させる授業の構想と展開	◇授業プランシートの活用、教師のコーディネート力の強化	2	
	㉓研修の成果や課題の共有	◇みらとびツアー（授業を見合う会）、学習指導要領を基にした教科観		
(13) 安全指導と危機管理への取組	㉔安全指導、交通事故・問題行動の未然防止	◇通学路点検、交通安全教室、速やかな情報共有、	3	
	㉕危機回避意識の向上（自分の命は自分で守る）	◇様々な状況を想定した実践的な避難訓練等の実施		
(14) 校内外環境の整備・充実	㉖校舎内外の安全確保	◇学校安全の日の点検実施、日常的な校舎・校地管理・補修	3	
	㉗潤いのある学校環境整備	◇生徒の成長が見える校内掲示環境の整備、花壇等の整備の充実		

(11) 学校運営への主体的参画

⑳学校の教育目標、目指す生徒の実現

[教師 18]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	4	8	2	0	71%
年度末					

(12) 学力向上等への組織的研修

㉑学びを実感させる授業の構想と展開

[教師 20]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	2	7	5	0	60%
年度末					

(13) 安全指導と危機管理への取組

㉒安全指導、交通事故・問題行動の未然防止

[生徒 20]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	81.0	16.2	2.2	0.6
年度末				

[保護者 13]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	30.5	60.3	8.6	0.7
年度末				

(14) 校内外環の整備・充実

㉓校舎内外の安全確保

[教師 22]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	5	9	0	0	79%
年度末					

㉔潤いのある学校環境整備

[教師 23]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	2	12	0	0	71%
年度末					

㉕共通実践事項の共通理解と実践

[教師 19]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	3	11	0	0	74%
年度末					



付箋紙を用いた小グループによる研究協議

[教師 21]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	5	8	1	0	76%
年度末					



朝の登校指導(交通安全協会)



P T A 親子早朝奉仕作業

V 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組を分かりやすく保護者や地域に伝えるとともに、地域の教育力を有効に活用する。 そのことが地域の活力となる。	中間	おおむね良好	おおむね良好	コロナ禍であるが、感染対策を踏まえ、PTAや地域と連携した取組に感謝したい。PTAと学校との関係が非常によいと感じている。タイムリーな情報提供もありがたい。
	年度			
自己評価学校の概要と改善と策	【中間（→年度末）】 ・学年通信や学校報は、定期的に行うことができた。また、ホームページも随時更新することができた。学校運営の考え方や進め方についても、これまで以上に情報発信していきたい。 ・コロナ禍ではあるが、感染対策を講じながら、可能な範囲で保護者・地域と学校との双方向の連携を続けていきたい。アルミ缶回収は回収量からも、昨年度より周知されていた。			
	【年度末（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(15) 保護者・地域との双方向の連携	⑩保護者・地域の理解を得る広報活動	◇学校・学年・部活動だよりの内容の充実、HPの更新、学校開放	3	
	⑪行事やPTA活動の工夫	◇各種PTA活動を通じた保護者の積極的な協力体制		
(16) 地域素材・地域教育力の活用	⑫地域行事への生徒の積極的な参加・貢献	◇地域行事・地域貢献活動への参加と協力	3	
	⑬地域の教育資源・人材の活用	◇各機関との連携、地域学校協働本部事業の活用		



校地内熊出没多発



保護者による熊対策の刈り払い作業



保護者による熊対策のための雑木林の伐採作業



熊の忌避剤の設置

(15) 保護者・地域との双方向の連携
 ③⑩保護者・地域の理解を得る広報活動

[保護者 1 4]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	35.8	59.6	4.0	0.7
年度末				

③⑪行事やPTA活動の工夫

[保護者 1 5]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.5	65.6	7.3	0.7
年度末				

(16) 地域素材・地域教育力の活用

③⑫地域行事への生徒の積極的な参加・貢献

[生徒 2 1]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	30.7	39.7	21.8	7.8
年度末				

③⑬地域の教育資源・人材の活用

[教師 2 3]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	4	10	0	0	76%
年度末					



種目により保護者の観戦場所を制限した運動会

本校ホームページ www.hinai-jh.sakura.ne.jp

[教師 2 4]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	9	5	0	0	88%
年度末					

[教師 5 3]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	6	7	1	0	79%
年度末					

[保護者 1 6]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	15.9	57.6	24.5	2.0
年度末				



新入生歓迎会：2,3年生による歓迎の歌(比内中讃歌)



いまでも未来も、比内を盛り上げる「比内子どもサミット」

学校関係者評価委員会 中間コメント

1 学びプロジェクト 【おおむね良好】

学力向上に関連して、望ましい学習規律の習慣化とともに、協働的な学級づくりや先生と生徒の良好な関係づくりに力を入れて、学習指導と生徒指導の両輪で指導に当たっていただきたい。生徒の成長を認める言葉がけを大切にして、ほめることで子どもたちの力を伸ばしてほしい。

2 心と体プロジェクト 【おおむね良好】

今年度、不登校生徒が少ないのは、学校全体の未然防止の取組がしっかりしている成果であると感じている。SCの活用も含め、今後も居場所づくりを充実させることを継続してほしい。外部機関と連携するなど現在の取組をより充実させ、不登校の生徒が学校復帰できることを願っている。

「生徒の意見を生かして校則が見直された」と、生徒ヒヤリングで3年生が嬉しそうに話していた。子どもたちがルール作りに参画する場を設けたことは、意見に耳を傾けて受容することにつながっている。素晴らしいことである。

3 生き方プロジェクト 【おおむね良好】

生徒ヒヤリングで1年生が、「農業体験が一番印象に残る活動であった」と話していた。職場体験を通して学ぶことは多い。働くことの大切さ、社会性など、大人との関わりから多くのことを学んでほしい。コロナ禍にあっても体験の場を工夫していることは素晴らしいことである。

自己有用感を高める工夫が見られた。異学年の生徒に対して感謝を伝える取組（廊下掲示）がよかった。

4 学校運営 学校管理 【おおむね良好】

高い危機管理意識を高く評価したい。PTAと協力した安全な環境づくりの取組も素晴らしい。指導部の担当者が新しい風を吹かせようとしている学校全体のプラスの雰囲気を感じられた。学習規律についての約束も、生徒と共に考え、活気のある学び合いを目指してほしい。

事故防止の取組として、事故が起こった原因は何なのかをしっかりと分析し、事故の未然防止の指導に生かしてほしい。

5 保護者・地域との連携 【おおむね良好】

熊出没情報をはじめ、タイムリーな情報提供がありがたい。

コロナ禍の状況の中、PTAや地域と連携した活動が行われていることに感謝したい。

PTAの活動と学校との関係が非常によいと感じている。